生活保護改悪案 低賃金強いる

「とにかく働け」ニートは「訓練」 ワーキングプア ブラック企業増

生活保護法改悪案と関連法案が賃金体系に重大な影響を与える！。生活保護申請を窓口で締め出す「水際作戦」の合法化に続いて、もう一つの深刻な問題を指摘する声が広がっています。「働ける年齢層」の追い出しをはかり、低賃金労働を押し付けようとしているからです。「労働の安売り競争」を巻き起こし、就業者全体に悪影響を及ぼす大問題です。

生活困窮者自立支援法案とセット

改悪案は〝就労による自立の促進〟の名の下に、保護開始後の3カ月～半年の間に「低額であっても一旦就労」することを「基本的な考え方とする」（厚労省）としています。

現在でも、「働ける年齢層」に対しては、〝とにかく仕事を探せ〟と厳しい指導が行われています。改悪案は、行政による就労指導の権限をいっそう強化し、〝就労〟を強い、保護費の「節約」を図ろうというものです。

生活保護法改悪案とセットで提出されている生活困窮者自立支援法案では、〝就労訓練〟としてニート「中間的就労」を創出することが盛り込まれています。雇用型、非雇用型の2種類がありますが、非雇用型では最低賃金は適用されず、「訓練」を名目に安くこき使われる危険が指摘されています。

生活保護法改悪案とセットで推進

全労連の井上久事務局次長は「失業に対して公的な給付があるのは本来、本人の生活を支えるためだけではありません。悪質な仕事に就かざるを得ない人を生み出さないためです」と指摘します。

■生活保護法改悪案の主なポイント

- ✕申請書類の提出義務付けで「水際作戦」を合法化
- ✕親族の扶養義務を強化し、事実上の要件に
- ✕〝就労促進〟として「働ける年齢層」は低額でも就労
- ✕医療では後発医薬品（ジェネリック）の使用を原則化

翼賛体制で推進 来週の成立狙う

生活保護法改悪案は、衆院では十分な審議もなく、自民、公明、民主、維新、みんな、生活の6党の賛成で可決されました。悪法推進の翼賛体制です。来週にも参院で可決し、成立させることが狙われています。

生活保護基準引き下げと生活保護法改悪案の廃案を訴えて国会に向かいデモ行進する人たち＝5日、東京・霞が関

雇用の質押し下げ

2008年のリーマン・ショック後に生活保護利用者が急増しました。大量の非正規労働者が非正規切りで、仕事と同時に住まいも失ったからです。背景には雇用保険に加入する非正規労働者は6割程度にとどまり、完全失業者の7割以上が失業給付を受けられていないことがあります。

失業率の上昇と連動して生活保護利用者が増えるのは当然です。

このうえ生活保護からの失業者の追い出しを強め、低賃金労働を強いようというのが今回の改悪案です。井上氏は「失業者本人の自立につながらないだけではありません。大量の生活保護利用者が低賃金の短期・不安定雇用に流れ込めば、雇用全体の質を押し下げることになる」と批判します。

国の責任投げ捨て

自民党政治が雇用のルールを壊してきたため、ただでさえまともな雇用は限られ、派遣など低賃金の短期・不安定雇用が大半を占める現状です。労働者の4人に1人はワーキングプア（働く貧困層）に陥っています。1年を通して働いても年収が200万円以下のワーキングプアは、1997年の814万人から2011年には1069万人へと約1・3倍に増大しています。

失業者に期限を切って就労を強いたり、「訓練」の名で最低賃金以下の仕事をさせれば、労働条件の切り下げ競争が強まり、雇用全体がさらに劣悪化します。

「大卒でも正規の仕事に就けず、ブラック企業がはびこる現状がいっそう悪化する」と井上氏は警告します。

政府は生活保護利用者の増加を問題視しますが、生活保護の捕捉率は約2割といわれます。本来受けられるはずの8割が制度から漏れていることこそ問題です。

ワーキングプアをさらに増やす生活保護法改悪案は、生存権を保障する国の責任を投げ捨てるものです。

「労働力は安売りしない」フランスの常識

フランスでは、「労働力の安売りはしない」という考え方が根付いています。失業者に対しては、失業保険だけでなく、失業保険が切れた人への失業扶助、失業保険の対象とならない人への生活扶助という三重の保障があります。

「まともな仕事がないときに、行政が失業者に『仕事に就け』ということはフランスではできない」と語るのは、同国の社会保障制度を研究してきた広島県立大学の都留民子教授です。

資格や専門的職能がある失業者たちに「仕事を替えろ」とケースワーカーは言えません。移民に対しても、資格を取らせたうえでまともな求人が出るまで待たせます。失業率が高く、まともな仕事がない場合は、引き続き扶助を受けさせるのだといいます。

「失業率が高いなかでは、就労支援はうまくいきません。それなのに行政が就労だけを強調するなら、〝だったらまともな仕事をよこせ〟と失業者は反論するでしょう」